

令和7年度 巻郷土資料館運営協議会

開催日時	令和8年3月10日（火曜日）午後2時～3時00分	
開催場所	巻郷土資料館 展示室	
出席者	委員	近藤義衛・江端繁・桑原正史・遠藤敏雄・羽生綾子・山添礼子・山下あい子
	新潟市	巻文化会館加藤館長・巻郷土資料館浜田館長
議案	(1) 令和7年度 新潟市巻郷土資料館事業実績について (2) 令和8年度 新潟市巻郷土資料館事業計画について (3) その他	
		※資料別紙添付

運営協議会会議概要

- ・ 令和7年度の運営協議会を開催した。
- ・ 司会委員は浜田館長選任にて近藤委員が承認される。
- ・ 議題の（1）から（3）について、事務局である浜田館長より事業内容についての詳細説明が行われ、説明後に意見交換を行った。

〈意見交換等〉

【委員】

- ・ 4月からの有料化に伴って1年目の入館者数は減少したが、事業のPR不足も原因の1つではないか。
- ・ 事業の広報の幅を広げてもらえば入館しやすくなるのではないか。
- ・ 視野範囲をもっと広げながら事業内容を決めていって欲しい。
- ・ 他の機関とのコラボ企画等のイベントを考えてみたらどうか。
- ・ のぞきからくり実演実施日や事業を周知する方法は、区だより・チラシ・ポスターの他にも地域マップ等への掲載も考えてみたらどうか。また、今後はメディアからの取材やSNS等も使っていけたら良いのではないか。
- ・ 当館に収蔵されている市の文化財だけを取りまとめて展覧会をしたら集客が見込めるのではないか。地域総務課からでも良いが、古民家篠原家の調査結果を借りて発表発信等をして貰ったらどうか。
- ・ 施設の老朽化に伴って書物や民芸品等はどうなってしまうのか。市の安全な場所に保管していただきたい。
- ・ 計画した事業が出来なくなり突然の変更は大変だったと思うが、素晴らしい企画が実施出来てとても良かった。
- ・ 毎年恒例で実施されている古文書講座にも一度参加してみたいと思っている。

【巻郷土資料館長】

- ・ のぞきからくりは小学校の3年生が地域体験学習で訪問するが、3年生にはまだ口上師の言葉の理解が難しく内容が理解出来ない事が多く、どうしたらわかり易い言葉で伝えられるか等の課題もある。来年度は取り立てて口上師育成にも力を入れて事業を展開していく予定である。
- ・ ここは新潟市の施設であることから、順序を踏んで色々な事が進んでいきます。施設の老朽化による複合化問題等全てを含めて前向きにいくようにご理解ご協力をお願いしたい。